

○目標を達成するための具体的な取組状況【加古川】

(○: H29までの取組に具体的な成果例あり ●: H29までの取組で具体的な成果例なし - : 取組対象外)

項目	取組実施機関					H 2 8 までの実施内容	H 2 9 実施内容	H 2 9 成果 青字: 国が取組事例として報告 赤字: 各機関が取組事例として報告	H 3 0 以降継続内容	最終目標	備考
	国	兵庫県	加古川市	高砂市	小野市						
1. 情報伝達、避難計画等に関する事項											
最大規模洪水を対象とした洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの策定、公表	○	-	○	-	-	・加古川(国管理区間)におけるL2浸水想定区域図の作成、公表(ホームページ、紙開覧)	・加古川(国管理区間)におけるL2浸水想定区域図の公表(ホームページ、紙開覧) ・氾濫予測システムの構築 ・加古川(県管理区間)におけるL2浸水想定区域図の作成	・L2浸水想定区域図を公表中【国】 ・最大規模洪水を対象とした氾濫予測システムの構築【国】 ・CGハザードマップを公表中【L1規模】【県】	・ホームページ等による公表の継続 ・公共施設等への掲示	・地域住民の認知度向上	
地域住民及び学校等への水災害教育の実施	○	-	○	○	○	・小学生向け防災冊子の作成、配布 ・防災訓練の実施 ・出前講座の実施 ・ジュニア防災スクールの実施 ・ひょうご防災リーダー講座の開催	・小学生向け防災冊子の作成、配布 ・防災訓練の実施 ・出前講座の実施 ・ジュニア防災スクールの実施 ・ひょうご防災リーダー講座の開催 ・自主防災組織への水防訓練指導	・地域の特色を反映した、小学生向け防災冊子を作成・配布【国・小野市】 ・地区に応じた水防対応力の向上を促すため、自主防災組織ごとに水防訓練の指導を実施【加古川市】 ・自主防災組織等を対象にした出前講座の実施: 68回【高砂市】 ・消防・防災フェスにて浸水歩行体験機を使用し市民に浸水体験学習を実施【小野市】 ・自主防災組織(10地区)の訓練において、防災講和等を行った。【加東市】	・地域単位の防災訓練の実施 ・出前講座の実施 ・小学校等における防災訓練(出前講座)の検討、実施 ・「安全安心」ストロール隊との連携した訪問等の制度説明により、ほぼ全員の避難行動要支援者の名簿情報提供の意思確認を行い、名簿情報提供同意者が前年度比約1.5倍になった。【小野市】 ・ジュニア・地域防災スクールの実施 ・ひょうご防災リーダー講座の開催	・定期的な防災訓練の実施 ・全小学生の水防災意識向上	
意識変化を確認するための手法(住民アンケート等)の検討・実施	●	-	●	●	○	・地域防災計画に記載のある浸水の恐れのある要配慮者利用施設へのアンケートを実施			・水防災意識に関するアンケートの検討、実施、取りまとめ	・地域住民の浸水被害に対する意識向上の確認	
最大規模洪水を対象とした浸水CGの作成、公表	○	-	○	○	●	・市民意識向上につながるCG作成モデル地区の提案 ・モデル地区におけるCG作成支援 ・浸水CG(計画規模)の公表			・L2浸水CG作成対象地の拡大	・L2洪水発生時の具体的なイメージの啓発	
最大規模洪水を加味した洪水ハザードマップの検討・作成	○	-	●	●	○	・モデル地区におけるL2洪水時の避難検討	・モデル地区におけるL2ハザードマップの検討	・モデル地区におけるL2ハザードマップの検討【国】	・モデル地区の展開 ・各市のハザードマップへのL2洪水反映	・各市のハザードマップに、L2洪水情報を反映	
タイムライン(案)の検証、及び改善に向けた検討	○	-	○	○	○	・タイムライン(簡易版)の運用 ・タイムライン(チェックリスト版)の作成、共有	・タイムライン(簡易版)の運用 ・庁内版タイムラインの作成検討	・タイムライン(簡易版)の運用【国・加古川市、高砂市、小野市、加東市】 ・庁内版タイムラインの作成検討【国】	・更新版タイムラインの活用 ・タイムラインを用いた防災訓練等の実施 ・地域の現状に即したタイムラインの作成を検討 ・タイムライン検討会(仮称)による拡充	・関係機関を含めた、タイムラインの共有	
避難判断水位、氾濫危険水位等の検証及び見直し	○	-	○	○	○	・避難判断水位、氾濫危険水位の検証 ・避難判断水位、氾濫危険水位の検討(県管理区間)	・避難判断水位、氾濫危険水位の検証 ・避難判断水位、氾濫危険水位の検討(県管理区間)	・危険水位等の検証及び見直しを実施【国・小野市、加東市】 ・「危険水位等の設定要領(改訂版)」に基づき、各水位を県管理河川において設定【県】	・設定水位と避難状況に乖離が見られる場合は、設定水位の再検討を行う ・県管理区間で新たに設定した水位の運用を実施	・避難意識にリンクした水位設定	
広域避難も含めた、避難場所及び避難経路の検討	●	-	●	○	○	・L2洪水発生時の、避難場所検討 ・防犯灯の設置	・広域避難地の検討	・京都府宇治市と災害時相互応援協定を締結し、広域避難地を確保した。【加東市】	・避難場所や避難経路について、検討を行う。 ・避難経路の検討に必要な情報提供等の支援を行う。	・市域を越えた避難状況を想定した計画策定	
地域防災計画の検討、更新	○	-	○	○	○	・地域防災計画の更新、公表	・地域防災計画の更新、公表	・地域防災計画の更新及び公表【加古川市、高砂市、小野市、加東市】 ・地域防災計画の検討、更新について必要な情報提供を実施【国、県】	・地域防災計画の更新及び公表	・地域防災計画へのL2洪水の反映	
協議会参加機関のホームページ等を活用した、情報提供内容の検討	○	-	○	○	●	・L2浸水想定区域図の公表 ・防災情報の発信	・防災情報の発信	・市民向けタイムラインを作成し、市の広報誌に掲載【高砂市】	・提供する防災情報の拡充	・ホームページ等で分かりやすく防災情報を提供する	
発表対象区域や避難の切迫性等が住民に伝わる洪水予報文、伝達手法の検討	○	-	○	○	●	・情報伝達システムの構築	・情報伝達システムの構築 ・洪水予報文の改良	・避難の切迫性等が住民に伝わる洪水予報文に改良【国】 ・的確な避難行動のための災害情報伝達システムを構築【加古川市】 ・平成28年に整備が完了した防災行政無線により、加古川沿いの地区に避難勧告等を放送し、事態の緊急性を伝えた。【加東市】	・出水により、発表した洪水予報文では住民の反応が悪い等の状況であれば、理由を検証し、必要に応じて洪水予報文や伝達手法を見直す。	・発表した洪水予報等の情報が、地域住民に伝わるようにする。	
最大規模洪水時の避難情報提供のあり方検討	○	-	○	○	○	・被災自治体への視察 ・デジタル無線通報系の導入検討			・最大規模洪水が発生した際の、避難情報提供のあり方について検討を行う。	・L2洪水が発生した場合に、避難情報が住民に確実に届く方策を複数用意する。	
スマートフォン等を活用したプッシュ型情報の発信・普及活動の検討	○	-	○	○	○	・プッシュ型配信の実施調整 ・ひょうご防災ネットによる情報発信	・プッシュ型配信の実施 ・緊急連絡メールを使用した情報伝達訓練 ・ひょうご防災ネットによる情報発信	・プッシュ型配信を実施【国・小野市、加東市】 ・防災アプリ「全国避難所ガイド」運営会社と協定締結【高砂市】 ・避難情報伝達手段として市民・企業に周知ができた。【小野市】 ・ひょうご防災ネットによる情報発信【国・加古川市・高砂市・小野市・加東市】	・配信内容の検証 ・プッシュ型配信を用いた、防災訓練の実施	・防災情報発信時に、住民が必要な情報を得られる手段を増やす。	
外国語に対応した情報提供の実施	●	-	○	○	○	・「ひょうごE(エマージェンシー)ネットによる情報発信	・「ひょうごE(エマージェンシー)ネットによる情報発信	・「ひょうごE(エマージェンシー)ネットによる情報発信【県、加古川市、高砂市、小野市、加東市】	・モデル自治体ホームページにて、外国語版防災ページを検討	・外国人に対しても、防災情報を発信できるようにする。	
「自主防災組織で避難誘導にあたる人材」の育成	●	-	○	○	○	・避難誘導訓練を実施 ・自主防災会リーダー研修会を実施 ・ひょうご防災リーダー講座を開催	・避難誘導訓練を実施 ・自主防災会リーダー研修会を実施 ・ひょうご防災リーダー講座を開催 ・防災士勉強会の実施	・防災士などを対象に、地域の防災リーダー育成のため、防災士勉強会を実施【加古川市】 ・避難誘導訓練(水防訓練・総合防災訓練)の実施【高砂市】 ・自主防災会リーダー研修会(参加者: 約400名)を8月に実施。避難経路を考慮した防災マップ作成やHUG訓練を行い、地域の防災力向上につながった。【小野市】	・自治体等で実施している。防災リーダー育成研修等を実施	・市役所職員に頼らずに、住民自らが避難できる態勢の構築	
避難行動要支援者に対する、避難計画の作成	(○)	-	(○)	○	○	・要配慮者施設における避難計画作成説明会の実施 ・要配慮者施設における、避難計画の検討 ・地域防災計画に記載のある浸水の恐れのある要配慮者施設へのアンケート	・避難支援等を行う関係者へ情報提供整備 ・要配慮者施設における避難計画作成状況の調査 ・避難行動要支援者制度の理解促進及び、制度を利用した避難支援体制構築の促進 ・要配慮者施設における避難確保計画作成の促進 ・県内における要配慮者利用施設の避難計画作成を促進するため、モデル事業として豊岡市内の特別養護老人ホームを対象にワークショップと避難訓練を行い、計画作成の事例集を作成【国、県】	・浸水リスクのある要配慮者施設に対して水防時の避難確保計画の作成及び訓練の実施状況等について調査を行い、未作成、未実施施設に対して作成を促す【加古川市】 ・要配慮者施設における避難計画の作成支援【高砂市】 ・加東市避難行動要支援者名簿に関する条例を制定し、避難支援等を行う関係者へ情報提供ができる環境を整えた。【加東市】 ・安全安心ストロール隊との連携した訪問等の制度説明により、ほぼ全員の避難行動要支援者の名簿情報提供の意思確認を行い、名簿情報提供同意者が前年度比約1.5倍になった。【小野市】 ・浸水想定区域にある要配慮者施設に対し、避難確保計画作成の手引きや計画ひな形を提供【小野市】 ・「要配慮者利用施設における避難に関する計画作成の事例集(水害・土砂災害)」を公表【国、県】	・要配慮者利用施設の避難計画について、地域防災計画等への反映	・自宅等に居住する要配慮者に対する避難計画の策定	
高齢者に対応可能な、避難誘導の検討	●	-	○	○	○	・災害時の準備情報の変更に伴う広報	・兵庫県災害時要援護者支援指針の改訂【県】 ・災害時要援護者のための個別支援計画作成の手引き作成【県】 ・兵庫県災害時要援護者支援取組事例集作成【県】 ・災害時要援護者サポートミーティングの開催【県】	・兵庫県災害時要援護者支援指針の改訂【県】 ・災害時要援護者のための個別支援計画作成の手引き公表【県】 ・兵庫県災害時要援護者支援取組事例集公表【県】 ・災害時要援護者サポートミーティングの開催【県】	・高齢者が避難可能な状況を整理 ・モデル地区における、避難誘導の実施検証	・誰もが安全に避難可能となる計画の策定	

○目標を達成するための具体的な取組状況【加古川】

(○：H29までの取組に具体的な成果例あり ●：H29までの取組で具体的な成果例なし -：取組対象外)

項目	取組実施機関					H28までの実施内容	H29実施内容	H29成果 青字：国が取組事例として報告 赤字：各機関が取組事例として報告	H30以降継続内容	最終目標	備考
	国	兵庫県	加古川市	高砂市	小野市						
市が主催する防災訓練の検討、実施	○	-	○	○	○	・防災訓練の実施	・防災訓練の実施	・高砂市水防訓練(参加者516名)を実施し、市民の水防防災意識を醸成した。 【高砂市】 ・水害に特化した総合防災訓練を企画 【加古川市】 ・消防本部主催の水防訓練に水防団(消防団)が参加。 【小野市】 ・滝野南小学校及び三草小学校で自主防災組織との合同防災訓練を実施。 【滝野南小:322名参加、三草小:268名参加【加東市】 ・指定避難所において避難所体験訓練を行い災害に備えた。 【加東市】	・水防を意識した防災訓練の実施 ・学校単位の浸水訓練の検討	・多数の住民が参加し、実感できる水防防災訓練の実施	
最大外力洪水又は計画規模洪水を対象としたマイ防災マップ等の更新、作成	○	-	○	○	○	・マイ防災マップの作成説明会を開催	・マイ防災マップの作成	・里地区自治会において、作成検討会、まち歩きを実施。 【国・県・加古川市】 ・自主防災組織が取り組む防災マップ作成への支援 【浜田町・中島【高砂市】	・マイ防災マップ作成支援 ・マイ防災マップ未作成地域での作成 ・マイ防災マップ作成地域の更新	・浸水の可能性がある全ての地域で、マイ防災マップの完成もしくは避難所、避難経路の周知	
関係機関と協力・連携した普及啓発活動(出前講座等)の実施	○	-	○	○	○	・出前講座の実施 ・防災アーカイブスの作成 ・東播磨地域防災のついで開催	・出前講座の実施	・職員を対象とした防災意識を高める研修を実施 【国・加古川市】 ・職員及び災害ボランティア登録者を対象とした避難所運営研修を実施 【高砂市】 ・町の要請に応じた出前講座で水災害の防災講話を実施 【小野市】 ・滝野東小学校5年生児童80人に、防災学習を実施。 【加東市】	・連携して出前講座を実施 ・出前講座依頼方法の検討 ・ジュニア・地域防災スクールの実施	・住民の防災意識を高める	
2. 水防に関する事項											
若年層の消防団加入促進を図る普及啓発活動を実施	●	-	○	○	○	・消防団への加入啓発	・消防団への加入啓発	・ポスター等の掲示 【加古川市、高砂市、小野市、加東市、県】 ・市役所に勤務する消防団未加入の若手職員を中心に、市役所分団を設立した。 【加東市】	・ポスターの掲示等	・消防団員の増加	
重要水防箇所を姫路河川国道事務所ホームページ等で公表	○	-	(○)	-	-	・重要水防箇所を事務所ホームページに掲載 ・重要水防箇所(県管理区間)を県ホームページに掲載	・重要水防箇所を事務所ホームページに掲載 ・重要水防箇所(県管理区間)を県ホームページに掲載	・重要水防箇所を事務所ホームページで公開 【国】 ・重要水防箇所(県管理区間)を県ホームページで公開 【県】	・出水の影響や、河川整備により重要水防箇所を見直す ・更新した重要水防箇所について、関係機関に情報共有すると共にホームページで公表する ・河川整備の進捗に応じ重要水防箇所を更新し、県ホームページに掲載	・水害リスクのある箇所を、住民の方に共有する。	
溜め池の決壊や内水氾濫、最大外力等を踏まえた避難態勢の整備に努める	-	-	○	○	○	・溜め池ハザードマップを公表	・溜め池ハザードマップを公表	・溜め池ハザードマップを市ハザードマップ、CGハザードマップ、地域防災計画等で公表 【加古川市、高砂市、小野市、加東市、県】	・溜め池決壊の被害にそなえた啓発を実施	・溜め池の決壊や内水氾濫等に備えた、避難計画の策定	
関係者による重要水防箇所等の共同点検を実施	○	-	○	○	○	・重要水防箇所等について、共同点検を実施	・重要水防箇所等について、共同点検を実施	・重要水防箇所(国管理区間)等を共同点検。 【国・高砂市】 ・重要水防箇所(県管理区間)を共同点検 【加古川市、高砂市、県】 ・市長まちづくりタウンミーティングを実施し、加古川における防災上の懸念場所を視察した。 【加東市】	・住民を交えた共同点検を実施する	・水害リスクのある箇所を、住民に共有する。	
洪水時のCCTVによる堤防監視、施設監視の強化	○	-	-	-	-	・CCTVで確認出来る範囲の確認			・氾濫の可能性がある箇所について、状況把握を高めるようにする。	・洪水時に、越水状況等を把握するのに安全性を高める。	
洪水時に提供可能な水位データやCCTVの設置検討	○	-	-	-	(○)	・簡易水位計、CCTVの設置設計	・危機管理型水位計の設置検討	・加古川に危機管理型水位計(14箇所)の設置を検討 【国】	・簡易水位計、CCTVの充実	・避難情報の発表、避難地域の検討に必要な情報を充実させる。	
河川管理者による水位予測情報の提供	○	-	○	○	○	・氾濫注意水位を超過した段階で、水位予測を各自治体に提供 ・水位予測情報等(県管理区間)を各自治体に提供	・氾濫注意水位を超過した段階で、水位予測を各自治体に提供 ・水位予測情報等(県管理区間)を各自治体に提供	・ホットラインにより、水位予測情報等を提供。 【国・加東市、小野市】 ・フェニックス防災システムで水位予測情報等(県管理区間)について、各自治体に提供した。 【県】	・各自治体が必要とする水位において、水位予測情報を提供	・避難情報の発表、避難地域の検討に必要な情報を充実させる。	
水防倉庫等の配置計画を再検討	○	-	○	○	○	・水防倉庫等の配置計画を検討	・水防資機材共有資料の作成	・水防倉庫等の配置の再検討のため、国、県および自治体が所有する水防資機材の位置、リストをとりまとめ、共有した。 【国・県・加古川市、高砂市、小野市、加東市】	・水防活動に支障がないか、拠点の配置について検討を実施	・どの地域でも遅滞なく水防活動が可能となる配置計画の策定	
水防資機材の備蓄状況について、自治体に情報提供を実施	○	-	○	○	○	・水防資機材の備蓄状況について、関係自治体へ情報提供	・水防資機材共有資料の作成	・的確な水防活動のため、国、県および自治体が所有する水防資機材の位置、リストをとりまとめ、共有した 【国・県・加古川市、高砂市、小野市、加東市】	・水防協議会等で水防資機材備蓄状況について情報共有を行う	水防用資機材が必要な時、どこに配備されているかを関係機関で情報共有する。	
3. 氾濫水の排水に関する事項											
氾濫水を迅速かつ的確に排水するための排水計画(案)の策定、見直し	○	-	-	○	●	・市庁舎等、防災拠点モデルの排水計画(案)の作成			・排水計画を必要とする地域、施設について計画を拡充する	・浸水時に、早期の排水が必要な施設・地域に対して排水計画が策定されている。	
排水計画(案)に基づく排水訓練、及び関係機関との合同訓練の実施	●	-	●	●	●	-			・作成した排水計画を用いて、実際にポンプ車が配置可能なか、訓練を実施する。	・各市場で作成した排水計画箇所を訓練を実施し、実際に作業が可能である事を確認する。	
4. 河川管理施設に関する事項											
流下能力を向上させる事業の実施	○	-	-	-	-	・築堤予定箇所の買収、河道掘削の実施	・築堤予定箇所の買収、河道掘削の実施	・滝野地区 滝見橋架替・築堤用地取得 ・大門地区 河道掘削 ・高砂他地区 河道掘削	・加古川河川整備計画に基づき、計画的に整備を実施	・加古川河川整備計画の目標流量を安全に流下させる。	
堤防天端の保護、裏法尻の補強等、危機管理型ハード対策の実施	○	-	-	-	-	・整備が必要な箇所に対する、対策の実施	・整備が必要な箇所に対する、対策の実施	・天端舗装	・整備が必要な箇所に対して、対策を実施	・整備が必要な箇所の対策を完了する	
水防拠点となる施設の整備検討	●	-	-	-	-	・水防拠点となる施設の整備を検討	・水防拠点となる施設の整備を検討	・水防拠点となる施設について、意見等が無かったため未実施 【国】	・整備候補箇所に対し、検討を行う。	・必要な水防拠点となる施設の整備	